

# 小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- |   |            |
|---|------------|
| 1 | 一括質問一括答弁方式 |
| 2 | 一問一答方式     |

質問件名 巨費を投じるごみ処理施設の、より丁寧な情報提供等を

## 質問要旨

小平・村山・大和衛生組合(以下組合と呼ぶ)の、(仮称)新ごみ処理施設整備・運営事業(以下、新ごみ処理施設事業と呼ぶ)については、本年10月31日に入札書類の提出が締め切られ、来年1月下旬の開札を予定している。この事業は予定価格が消費税込みで約468億円と巨額である。同様に、他のごみ処理施設に関しても、市民は将来世代に渡って高額な負担を強いられるが、市民がどの程度の金額を、どれくらいの期間に渡って負担するのかといった基本的な情報が提示されていない。より丁寧な情報提供を心掛けて頂きたい、管理者である市が以下1~5の事項を把握しているか質問する。また、5については市の情報提供に関しても伺う。

1. 新ごみ処理施設事業の入札で、約468億円の予定価格を事前公表している理由は。
2. 新ごみ処理施設事業に関して、基本計画では概算として建設工事費が258億円、解体工事費が35億円である。予定価格との差引き175億円が、委託約20年間分の運営費と考えてよいか。これ以外に発生する事業費はないか。
3. 組合が担う3つのごみ処理施設事業(3市共同資源化事業、(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設事業、及び新ごみ処理施設事業)について、国からの交付金見込み総額、起債額と償却期間、年間維持費用、ライフサイクルコストはそれぞれどうか。
4. (仮称)不燃・粗大ごみ処理施設事業の運営事業者を、新施設稼働から2年経たのちに変更する理由は。
5. 組合のホームページに掲載されている財務書類が非常に少ない。小平市もそうだが、一般会計決算附属書類などの財務に関する重要な資料を組合及び市のホームページに掲載していない理由は。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和元年11月18日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 安竹 洋平

受付番号【     】
